第11回生活科学系コンソーシアムシンポジウム

テーマ　：　With/Post コロナ社会と人の生活 －生活科学からみた課題と取組－

日　時　：　2022年5月22日（日）　13時30分～16時25分

場　所　：　オンライン開催（Zoom）

申込方法：　5月15日（日）までに以下のサイトからお申し込みください。

　　　　　　　　https://forms.gle/i1VPs3sU8qyxhoe36

定　員　：　300名（申込先着順）

参加費　：　無料

趣　旨 ：

　コロナ禍が長期化する中で、我々は様々な生活変化を経験しています。これまでの生活にあった課題や矛盾も顕在化しています。このようなWithコロナ時代の現状を正しく認識し、ここを乗り越えてより健康で豊かで安全・安心なPostコロナの時代を築いていくには何が求められるでしょうか。今回は、このテーマで実施する第２回目のシンポジウムです。生活科学系コンソーシアムの５つの構成学会から、Withコロナ/Postコロナ社会と人の生活を生活科学の視点から考え、その課題と取組について報告し、その後意見交換を行います。

13:30～13:35　開会挨拶

 杉山久仁子（生活科学系コンソーシアム会長、横浜国立大学教授）

13:35～14:00　With/Postコロナ社会における家庭科教育の役割

　　　　　　　　志村結美（日本家庭科教育学会理事、山梨大学教授）

14:00～14:25　デジタル広告に対峙する消費者教育－観点の整理－

　　　　　　　　岩本諭（日本消費者教育学会理事、佐賀大学教授）

14:25～14:50　子ども食堂、フードバンク、フードパントリーの現状とこれからの課題

 　　　　　　　－利用者の声から－

 古庄律（日本食品科学工学会会員、東京農業大学教授）

14:50～15:00　休　憩

15:00～15:25　食を介するコミュニケーションのゆくえ　－調理学実習を通して－

　　　　　　　　綾部園子（日本調理科学会会長、高崎健康福祉大学教授）

15:25～15:50　コロナ禍における保育現場の現状と対応

　　　　　　　　－保育士間の同僚性、協働性に着目して－

　　　　　　　　花輪充（日本保育学会評議員、東京家政大学教授）

15:50～16:20　ディスカッション

16:20～16:25　閉会挨拶

 守隨香（生活科学系コンソーシアム副会長、共立女子大学教授)

お問い合わせ先：生活科学系コンソーシアム事務局

　　　　　　　　　 lifescicons[at]gmail.com（[at]を＠に置き換えて下さい）